

平成30年度 第2回 学校運営協議会

日時：平成30年11月26日（月） 15：00～16：00 （14:00～15:00 授業見学）

場所：本校 校長室

出席者：学校運営協議会委員（福永光伸氏、中村俊一氏、山崎久樹氏、志賀亮子氏、中村 潤氏）、
武田校長、および事務局（平野教頭、中川首席、境谷首席、鶴丸事務長）

会議に先立って、6限目の授業のうち、2年数学B、1年英語表現、3年現代文の授業見学を行った。

1 授業見学について

〔委員の方からの意見〕

・1年英語表現の授業について

先生の発音が素晴らしかった。先生方の英会話のレベルが高くなっている印象をもった。

新出の英単語などの確認も含めテンポよく進行し、その授業内で完結させようとするねらいを感じた。

・2年数学Bの授業について

アクティブラーニングの視点で授業展開できている。楽しそうな雰囲気の中にも、生徒が頑張っている感がある。グループ学習はアウトプットをしっかりとできることにつながる。

・3年現代文の授業について

現代文を構造的に分析し、ロジカルな授業展開をしていた。先生自身の話術や表情にも魅力があふれており、もっと授業を聞きたくなった。

・全般について

どの生徒も学習に向かう準備がしっかりとできている。クラス全体の雰囲気がよい。

〔事務局からの報告〕

・職員研修の取り組み「学力向上研修」及び「カリキュラムマネジメント研修」について

・組織的な講習活動について

〔委員の方からのご意見〕

・新学習指導要領のねらいは社会に出てきたときの学びにどう関連させるということにあるが、大学入試との関連についてまだ分からないことが多い。今後さらに学校内でも検討を進めていただきたい。

・十分な種類および量の講習活動とを感じるが、先生方の過度な勤務とならないように配慮も必要である。

2 学校経営計画の進捗状況について

〔校長より〕

今年度より、新たに項目2・Q「SC等の外部人材の活用による教育相談体制の見直し。迅速な生徒情報の共有化」を、長欠・不登校対策のために設定した。生徒・保護者のSCへの相談は時間が足りないぐらいある。ここまでの延べ数（前年度比）は、学校欠席：26%減、遅刻：28%減、保健室の来室者：29%減と、確実な効果が出ている。福祉につなぐ必要があるケースに対応するため、次年度SSW導入を考慮しており、その役割理解のために1月に職員研修を実施する。

〔委員の方からのご意見〕

・先生の負担軽減のためにもSSWの導入をぜひ行ってほしい。

・福祉につなぐという意味で、府だけでなく堺市（区）の福祉担当などとも連携していくことが大切である。

3 校長より

限られた時間で授業見学もしていただき、また多数の貴重なご意見いただき、ありがとうございました。いただいた意見をふまえながら、引き続き学校経営に励んでいきたいと思っております。

4 諸連絡

・今回は、教員の授業とそのほかの教育活動に関する意見書の提出はありませんでした。

・第3回協議会は2～3月に開催する予定。学校教育自己診断の結果、学校経営の評価などについてご意見をいただきたい。